

「生誕100年 遠藤周作展 ―ミライを灯すことば」 の開催について

町田ゆかりの作家・遠藤周作（1923-1996）は2023年に生誕100年を迎えました。遠藤は町田市民文学館の開館のきっかけとなった作家であり、当館では開館以来、展覧会や講演会等を通じて遠藤の顕彰を行ってきました。

遠藤は「日本人にとってのキリスト教」を文学テーマの基底に据え、差別や罪の意識、個と権力、人間の弱さなどの心の暗部を描き出し、本当の自分とは何か、悪に救いはあるのか、人生とは、神、信仰とは何かを問い続けました。教え諭すのではなく共に悩み苦しむ、弱者に寄り添う姿勢が多く読者の共感をよび、今なお人々を慰め、勇気づけています。町田在任期（1964～1986）は、『沈黙』『侍』などの代表作を発表するとともに、狐狸庵先生として幅広い年代から親しまれた時期にあたります。

本展では、次世代に語り継ぐ文学として遠藤文学の再評価を試みます。純文学の代表作6作を現在活躍中の作家4人が現代的なテーマで読み解き、いま読むべき文学としての意義を提示します。社会的不安が蔓延し、孤立や孤独、生きづらさを感じる現代。遠藤文学の新たな視点から、生きることの意味、未来を灯すメッセージを読みとっていただく機会になればと思います。

1 開催概要

開催期間：2023年10月21日（土）～12月24日（日）

休館日：毎週月曜日、11月9日（木）、12月14日（木）

観覧時間：10時から17時

観覧料：一般600円、大学・高校生300円、中学生以下無料

※ただし、10月22日（日）、11月3日（金・祝）は無料

※町田市立国際版画美術館との相互割引を実施

（10月21日（土）～12月10日（日））

対象：版画美術館「揚州周延展」チケットご提示の方

割引額：一般：200円引き、大高生：100円引き

特別協力：長崎市遠藤周作文学館

監修：加藤宗哉（作家）、今井真理（文芸評論家）

2 広報

『広報まちだ』、『生涯学習 NAVI』、町田市公式ホームページ、Web、SNS、ポスター・チラシ、「周作クラブ」会報、「東京新聞」（有料広告）等

3 関連イベント

- ①夏川草介 講演会「作家が語る遠藤文学 ～「海と毒薬」をめぐる」
日時：10月28日（土）
- ②山崎ナオコーラ×今井真理 対談
「作家が語る遠藤文学 ～「白い人」をめぐる」
日時：11月3日（金・祝）
- ③加藤宗哉 講演会「遠藤文学が時代を超えるわけ」
日時：12月9日（土）
- ④映画「深い河」上映会
日時：12月2日（土）
- ⑤担当学芸員による展示解説
日時：11月4日（土）、11月29日（水）、12月24日（日）
- ⑥桜美林大学×町田市民文学館共催企画 舞台「合唱物語 沈黙の声」
日時：10月28日（土）、10月29日（日）

※上記以外の連携イベント

- ① 3水スマイル講座「遠藤周作と狐狸庵先生」
日時：10月18日（水）①10：30～11：30 ②13：30～14：30
※生涯学習センター・鶴川地区協議会との共催事業
- ②玉川学園コミュニティセンター「センターまつり」でのPRミニパネル展
日時：11月4日（土）・5日（日）
※玉川学園コミュニティセンターとの連携事業
- ③ノームをさがそう！ in せりがや
日時：11月11日（土）10：00～15：00
※「Future Park Lab 2023 Autumn」イベントの一環
- ④柚木麻子講演会「次世代につなぐもの」
日時：11月23日（木・祝）14：00～16：00
※町田立教会との共催イベント。遠藤文学について言及予定。
- ⑤町田市立国際版画美術館とのコラボ展示
版画美術館・常設展示室「腐蝕の刻—エッチングの世界」展（9月27日～12月17日）において、遠藤が愛した画家・ルオーの版画を記念展示

ミライを灯すことば



遠藤 SHUSAKU
周作 FENDO

T.Y.

©横尾忠則

遠藤
周作 展

生誕100年

2023.10.21 sat _ 12.24 sun

休館日 毎週月曜日、11月9日(木)、12月14日(木) 観覧時間 10:00-17:00

観覧料 一般:600円、大学・高校生:300円、中学生以下:無料

※ただし、10月22日(日)、11月3日(金・祝)は無料 ※町田市立国際版画美術館との相互割引等を実施
【監修】加藤宗哉 今井真理 【特別協力】長崎市遠藤周作文学館 (詳細は当館HPに掲載)

町田市民文学館 ことばらんど



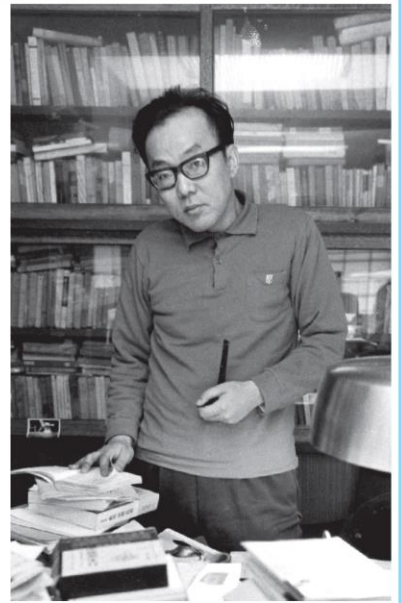
遠藤 SHUSAKU 周作展 ENDO

ミライを灯すことば

生誕100年

生誕100年を迎えた作家・遠藤周作(1923-1996)。新資料の発見が相次ぎ、再注目されている日本を代表する作家の一人です。「日本人にとってのキリスト教」を文学テーマの基底に据え、重厚な純文学作品から歴史小説、エンターテインメント小説、戯曲まで多彩なジャンルの作品を生み出しました。そして、これらの作品において差別、罪の意識、個と権力、人間の弱さなどの心の暗部を描き出し、本当の自分とは何か、悪に救いはあるのか、人生とは、神、信仰とは何かを問い続けました。教え諭すのではなく共に悩み苦しむ、弱者に寄り添うことで多様性への寛容を示した遠藤文学は多くの読者を慰め、勇気づけています。また、もう一つの名・狐狸庵先生としてエッセイを次々と発表。町田市玉川学園の自宅を「狐狸庵」と名付け、1964年から過ごした20余年の間にテレビのインタビュー番組やCMにも出演してユーモアに富む言動で幅広い人々に親しまれました。遠藤は後年、二つの名を持ったことにより「人一倍、生きた」という充足感を得られたと語っています。

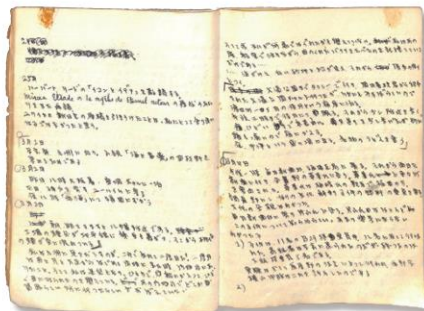
本展では、次世代に語り継ぐ文学として遠藤文学の再評価を試みます。代表作『白い人』『海と毒薬』『沈黙』『侍』『スキャンダル』『深い河』を、現代作家——山崎ナオコーラ、夏川草介、朝井まかて、阿部暁子氏らが新たな視点で読み解き、いま読むべき文学としての意義を提示します。社会的不安が蔓延し、孤立や孤独、生きづらさを感じる現代。遠藤文学の新たな地平から、生きることの意味、未来を灯すメッセージを読みとっていただければ幸いです。



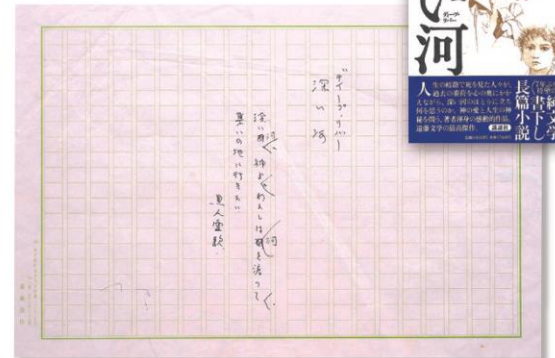
遠藤周作 1970年頃
町田市玉川学園の自宅にて



「影に対して」草稿 1965～69年頃
生前未発表作品。遠藤の実体験が投影された、「父」と「母」をめぐる物語。(長崎市遠藤周作文学館提供)



「海と毒薬」執筆時の日記 1957年頃
新発見資料。原稿、取材メモとともに2023年に初公開された。(長崎市遠藤周作文学館提供)



「深い河」原稿と『深い河』(1993年 講談社)
インドを舞台に様々な人生と悲哀が描かれる、遠藤文学の集大成であり最後の純文学作品。(長崎市遠藤周作文学館提供)



「狐狸庵閑居図」色紙(当館蔵)

Event

※1～5のイベントの参加には展覧会チケットのご提示が必要です。※1～3の会場は町田市民文学館です。

1 夏川草介 講演会

作家が語る遠藤文学

～「海と毒薬」をめぐる

日時 10月28日(土) 14:00～15:30

定員 80名(申込順)

申込方法 10月5日(木)正午から10月26日(木)まで
イベントダイヤル(042-724-5656)またはイベシスで
受付(イベントコード:231005B)

2 山崎ナオコーラ×今井真理 対談

作家が語る遠藤文学

～「白い人」をめぐる

日時 11月3日(金・祝) 14:00～15:30

定員 80名(申込順)

申込方法 10月5日(木)正午から11月1日(水)まで
イベントダイヤル(042-724-5656)またはイベシスで
受付(イベントコード:231005C)

3 加藤宗哉 講演会

遠藤文学が時代を超えるわけ

日時 12月9日(土) 14:00～15:30

定員 80名(申込順)

申込方法 11月9日(木)正午から12月7日(木)まで
イベントダイヤル(042-724-5656)またはイベシスで
受付(イベントコード:231109A)

4 映画「深い河」上映会

日時 12月2日(土) 14:00～16:15

定員 180名(申込順)

会場 町田市民フォーラム

申込方法 11月9日(木)正午から11月30日(木)まで
イベントダイヤル(042-724-5656)またはイベシスで
受付(イベントコード:231109B)

5 担当学芸員による展示解説

日時 11月4日(土)

11月29日(水)

12月24日(日)

いずれも 14:00～(40分程度)

申込不要。

直接2階展示室にお越しください。

6 桜美林大学×町田市民文学館共催企画

舞台「合唱物語 沈黙の声」

日時 ①10月28日(土) 17:00～ ②10月29日(日) 14:00～

会場 桜美林大学 東京ひなたやまキャンパス

桜美林芸術文化ホール内プロビデンスホール

料金 前売1300円/当日1600円(年齢による割引制度あり)

申込方法 桜美林大学(042-739-0085)で受付

📍 @machida_kotoba で最新情報発信中

町田市民文学館 ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17

TEL 042-739-3420 / FAX 042-739-3421

●JR 横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩8分

●小田急線「町田駅」東口から徒歩12分

